

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (2)地域に根ざした商工業の活性化

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

■基本施策が目指す姿

市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。

■関連する分野別計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	都市拠点における空き店舗活用件数	件	-	H27	0					5
2	カメヤマ創業アシストのサポートを受けた創業件数	件	-	H27	5					30
3										
4										
5										

■市民アンケート調査

項目	重要度	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1 日常の買い物がしやすい	重要度	1.37			
	満足度	0.02			
2 外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度	0.72			
	満足度	▲ 1.04			
3	重要度				
	満足度				
4	重要度				
	満足度				
5	重要度				
	満足度				

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	<p>新たなビジネスの創出は、創業件数5件と順調に施策を推進できており、個別判定をA評価としている。空き店舗等の活用支援制度設計などにぎわいのある商業地域の形成、商工会議所や商業団体など多様な主体による一体的な取り組みの促進、創業資金利子補給制度の創出など市内事業者の経営力の向上については、それぞれ、まずまず推進できており、B評価としている。また、基本施策に設定する成果指標においても、実績が出ていることから、基本施策が目指す姿にまずまず近づけることができていると考えられ、総合判定をBとした。</p>
反省点・課題	
<p>本市の発展の中心的な役割を担う市街地の活性化を図るため、空き店舗等の解消による商業の活性化及びにぎわいの創出が必要である。</p> <p>若い世代の地方志向や女性活躍に対する機運が高まるなか、こうした層が活躍できる環境づくりを進めていく必要がある。また、外食を行う場所に関して市民満足度が低い現状がある。</p>	

今後の展開方針

現在行っている創業セミナーと創業融資にかかる資金繰り支援に加え、新たに設けた、亀山市立地適正化計画における都市機能誘導区域内にある空き店舗や空き家等を改装して開業をする事業者に対し、店舗改装費用の一部を補助する亀山市空き店舗等活用支援事業補助金制度を、広報やHP、さらには亀山商工会議所と連携し、様々な情報媒体を通じ、情報を発信し、制度の普及啓発に努める。また、若者・女性の創業、及び飲食に関する創業等について支援内容充実の検討を行う。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① にぎわいのある商業地域の形成							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	空き店舗の活用における、空き店舗等活用支援事業補助金交付制度に向けての調整を亀山商工会議所と協議を行い、制度設計を行った。		評価	「空き物件情報バンク」を運営する亀山商工会議所と連携して、亀山市立地適正化計画に位置付ける都市機能誘導区域において、空き店舗等の活用を促進することにより、まちの魅力を向上させるにぎわいのある商業地域の形成に向け、まずは推進を図れている。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
					/		
事業以外の取組	内容					活動	成果
	空き店舗等活用支援事業補助金の制度設計					A	A

施策の方向② 多様な主体による一体的な取り組みの促進							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	商店街の各個店が講師となり、専門性を活かし、専門的な知識や情報、コトを無料で講義する亀山まちゼミを支援し、情報発信するとともに、市内中小商業活性化を図った。 また、「亀山大市」(亀山市商業団体連合会主催)を支援し、商業団体の連携強化に努めた。		評価	個店の存在や特徴を情報発信するとともに、個店同士の連帯感形成及び人材の育成につながっている。さらに、商業団体等と連携し、多くの来訪者を呼び込むことにより、商店街が持つ潜在的な魅力を発信しており、まずは施策の推進が図れている。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	7007	団体支援事業(商工業振興事業)		標	12,820 / 12,640	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向③ 市内事業者の経営力の向上							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B	活動	市内での創業者に対し、平成29年度に亀山市創業資金利子補給制度を創設した。創業資金融資にかかる保証料及び利子の一部を補給することにより、スタート段階における創業者の負担軽減と経営の安定を図った。		評価	小規模事業者に対する既存の利子補給制度、保証料補給制度に加え、創業資金利子補給制度を創設し、制度充実を図った。さらに制度利用者を増加させるため、亀山商工会議所等の関係機関と連携し、市内事業者の新たな事業展開や経営力向上に向けて、まずは推進できている。		
		まずまず進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業		主	1,814 / 1,375	A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向④ 新たなビジネスの創出							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業セミナーや個別相談会を開催した。		評価	平成29年度における創業件数は5件である。(創業セミナー開催時からの受講者による市内での創業は累計で12件) 平成29年度開催の創業セミナー受講者17名は、当該年度中の創業にまでは至らなかったが、創業に関してのスキルを習得したことにより、今後の創業が期待できることから、新たなビジネスの創出は推進できている。		
		順調に進んでいる					
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業		主	1,814 / 1,375	A	A
	7006	一般事業(商工業振興事業)		標	5,540 / 3,520	B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	行政情報番組における創業に関する特集番組の放送					A	A